

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	原発性アルドステロン症の治療における骨代謝因子変化についての検討		
1. 研究の目的と方法	原発性アルドステロン症の方では無治療だとアルドステロンの過剰分泌により血圧が上昇し、加えて心筋梗塞や脳梗塞などのリスクが高まることが知られています。近年アルドステロンは間接的に副甲状腺の機能にも影響を与えることが報告されています。副甲状腺ホルモンは骨の代謝に関与し、機能異常により骨量低下を起こすことが報告されています。アルドステロン症の治療を行うことによりこの骨量低下に関しても有益な効果が期待できることが報告されておりますが、手術加療行った方と薬物加療を行った方で治療効果に差があるかについては十分な検討がなされておられません。今回我々は骨の代謝に関連した因子の変化について両治療間に差があるか検討を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2025年9月30日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2011年4月1日から2023年3月31日までに東京慈恵会医科大学附属病院にて原発性アルドステロン症と診断を受けられ、副腎摘出術を施行した方、もしくはエプレレノン（セララ®）やエサキセレノン（ミネプロ®）を1年以上にわたり内服されている方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、体重、内服内容、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査）、負荷試験の結果	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会科大学 腎臓・高血圧内科
		氏名	木戸口 慧
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 菅野直希	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

	責任者	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始日：2022年9月～	
<b>【問い合わせ先】</b>	機関名：東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 研究責任者：助教 木戸 慧（きどぐち さとし） 電話番号：03-3433-1111（内線：3221） 対応時間：平日9:00～17:00	

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。